

文化協会 之正め

NO.70

令和5(2023)年8月

編集・発行

愛媛県文化協会

松山市一番町4丁目4-2

TEL 089-947-5480

題字／鴻池樂齋



揮毫：松平了斎一松園齋三六
吹柳 後道之正 芳村 三守 守安
多登 万寿一 裕 卯丁 五五五



創立30周年記念式典

令和5年
5月16日(火)
15:00～15:45
愛媛県民文化会館
真珠の間

30周年を一つの節目に

愛媛県文化協会会長 市村公子

5月16日(火)、愛媛県民文化会館真珠の間で、会員団体代表者及び記念表彰受賞者など約150人が出席し、記念式典が盛大に開催されました。

式典では、市村公子会長の式辞のあと、愛媛県の八矢拓副知事から、中村時広知事の御祝辞をいただくとともに、森居基修文化局長にも御来賓として御出席いただきました。

4年ぶりの対面での開催となりましたが、長らく愛媛県文化協会を牽引されてこられた方々、現在の文化協会を支えている役員や会員団体代表者、それぞれの文化活動に精進されている団体会員が、相互に交流を深め合う機会となり、愛媛県文化協会の新たなスタートを切る事ができました。

愛媛県におかれましては、日頃から当協会の活動に御理解をいただき、秋の恒例行事であります県民総合文化祭などを通じて、私どもの文化活動の発表の機会を提供していただくとともに、会員団体の育成や活動支援等に格別の御尽力賜りますことに、この場をお借りして、改めて感謝を申し上げます。

また、今日まで30年の長きにわたり活動が続けられましたことは、歴代役員の皆様方をはじめ、日々、地域で活動されておられる各団体の御努力、また賛助会員



の皆様方など文化活動に御理解をいただいている関係機関のお力添えの賜物と、深く感謝申し上げます。

現在、緊迫した世界情勢や物価の高騰、人口減少など、様々な問題に直面している中で、人々の心を豊かにし、潤いをもたらす文化の果たす役割がますます重要になっており、引き続き、文化に関わる私どもが知恵を絞り、文化の力で地域を盛り上げていくことが必要であると考えております。

当協会におきましても、創立30周年を一つの節目とし、これからも、本県文化の活性化と新たな担い手の育成に全力で取り組んでまいりますので、皆様方の変わらぬ御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

目次

創立30周年記念式典／吟行ナビえひめ……………	2・3	活動紹介：愛媛県吹奏楽会議……………	11
第26回地域文化功労賞・奨励賞 受賞者の横顔……………	4・5	活動紹介：上島町文化協会……………	12
特別功労者・功労者表彰、感謝状授与団体の皆様……………	6	わが町の伝統文化：粟津祇園太鼓保存会……………	13
定期総会……………	7	文化イベント情報……………	14・15
県民総合文化祭開催案内……………	8・9	筆のままに／受賞のご紹介／賛助会員のご紹介・募集／編集後記……………	16
活動紹介：愛媛県三曲協会……………	10		

【表紙紹介】表紙の作品は、第71回春季県展出品作品です。

左上から順に、Take off-Thank you, Reiji Matsumoto、(楠本真人：写真)、劉長卿詩(森田華舟：書道)、ロマン薫るいまばり(上松伸行：デザイン)、みなも(佐々木裕美：洋画)、平和日和(高橋芳和：洋画)、飛鳥寺(内藤浩吉：日本画)、巨人の予感(森本泰二郎：版画)、凧(岡敏夫：彫刻)、高桑蘭更句(酒井夕静：書道)、十駕(本多高陽：書道)、ジェラシー(宮崎和香：版画) 以上11名の愛媛県美術会の皆様の作品です。(敬称略)

式典次第

令和5年5月16日(火) 15:00～15:45
愛媛県県民文化会館 真珠の間

(1) オープニングアクト

愛媛交響楽団弦楽四重奏



オープニングアクト

(2) 開式の辞

副会長 篠原 雅士

(3) 式辞

会長 市村 公子



副知事ごあいさつ

(4) 来賓祝辞

愛媛県知事 中村 時広 様
(代理：愛媛県副知事 八矢 拓 様)

(5) 協会表彰

- ・ 創立30周年記念特別功労者、功労者表彰及び感謝状贈呈
- ・ 地域文化功労賞及び奨励賞表彰

(6) 謝辞

受賞者代表 武智 和子 様



式典の様子

(7) 閉式の辞

副会長 松本 勇二

高橋新吉は以前にも、吟行ナビえひめで掲載したということでしたが、伊方町小中浦で生まれ、ダイズムの第一人者でした。ダイズムとは伝統的な形式主義に反対する主義であり、簡単にいうと「そんなことをして何になる」という主義であると私は解釈しています。伊方ライオンズクラブの結成五周年の記念事業として建立された詩碑です。

(伊方町文化協会会長 末光勝幸)



私は海の中で生まれた
一九〇一年一月二十八日
一枚の鱗にさう書いてあった
伊予の西南の象の
鼻のやうな突き出た
半島の中ほどの
伊方である

高橋新吉

五・七・五のこころ

吟行ナビ えひめ

今回は、伊方町湊浦の明治記念公園にある高橋新吉の詩碑をご紹介します。

第26回 地域文化功労賞・奨励賞 受賞者の横顔

愛媛県文化協会の今年度の地域文化功労賞及び奨励賞受賞者を決定し、30周年記念式典で表彰を行いました。地域文化功労賞は、地域文化の振興に功績のあった個人又は団体に、また奨励賞は、若手の文化活動実践者として、将来、より一層の活躍が期待される個人又は団体に贈るものです。

ここに受賞者の皆様の御健勝と益々の御活躍をお祈り申し上げます。 ※役職は受賞時のものです。

受賞コメント

この度は栄えある賞を頂戴いたし光栄に存じます。愛媛県華道会の皆様の御協力の賜物と深く感謝致しております。この栄誉を忘れる事なく文化の振興に尽力して参ります。厚く御礼申し上げます。

昭和34年より活動を開始。以降、長年にわたり県内外においていけばな教室の講師や指導者として活躍され、令和4年には日本いけばな芸術協会第23回いけばな褒賞杯を受賞されるなど、いけばなの普及発展に尽力されました。愛媛県華道会では理事、副会長として7流派をまとめ、愛媛県のいけばな文化の発展に多大な貢献を果たされました。

役職／(現)愛媛県華道会 副会長

(元)愛媛県華道会 理事

(現)神園流 家元

(現)公益財団法人日本いけばな芸術協会

名誉特別会員

地域文化功労賞



愛媛県華道会
たけち かずこ
武智 和子さん
[雅号/景仙]

受賞コメント

この度は、県文化協会地域文化功労賞を頂き、誠にありがとうございます。日本音楽三味線の藤本流に師事し、多くの弟子にも恵まれ、共に大会や海外遠征などにも出かけました。また、民謡や民舞の方々とも親しくして頂き、共に地域の活力向上などに向け活動して参りました。今後も、地域の一員として、活動していきたいと思っております。

昭和62年より活動を開始。国民文化祭への出演や海外での演奏会開催など意欲的に活動され、日本の伝統音楽の普及・発信に努められました。えひめキッズ伝統文化ネットワークでは理事、監事を務め、団体の発展に貢献するとともに、後進の育成にも尽力されました。

役職／(現)えひめキッズ伝統文化ネットワーク 監事

(元)えひめキッズ伝統文化ネットワーク 理事

(現)創流民謡会 会主

(現)四国藤本会 会長

地域文化功労賞



えひめキッズ
伝統文化ネットワーク
あすい みよこ
安井 美代子さん
[雅号/藤本 秀代美]

受賞コメント

賜りました賞状の言葉の重み、盾の重さは、貴務の重さそのものであったと振り返っております。結社を超越して愛媛県俳句協会の活動にお力添え頂いた方々に感謝申し上げます。葉桜の風のやうなる思あまた

愛媛県俳句協会の常任理事を経て、副会長、会長として協会の発展に尽力されました。また、指導者として俳句結社「花信」を創刊、主宰。現在、「花信」後継結社「風信」名譽主宰。県下俳句大賞の選者やカルチャースクールの講師、読売新聞伊予文芸選者等も務められ、俳句の普及・啓発に貢献されました。

役職／(元)愛媛県俳句協会 会長

(元)愛媛県俳句協会 副会長

(元)愛媛県俳句協会 常任理事

(元)俳句結社「花信」 創刊主宰

地域文化功労賞



愛媛県俳句協会
ふくだに としこ
福谷 俊子さん

令和6年度地域文化功労賞
及び奨励賞の受賞候補者
及び団体推薦のお願い

令和6年度においても、文化協会において愛媛の文化芸術発展のために多大な功績のあった個人又は団体、また、今後の愛媛文化の担い手として期待されている個人又は団体を顕彰することとしております。

別途、文化協会各会員団体の事務局に、候補者の推薦を依頼させていただきますので、各賞の受賞にふさわしい候補者及び団体を、積極的に推薦いただきますようお願いいたします。

(地域文化功労賞)

●対象／

①団体活動部門(個人)

多年にわたり文化団体活動に尽力し、地域文化の振興に顕著な功績のあった個人

②分野活動部門(個人)

永年にわたり地域の文化活動に尽力し、地域文化の振興に顕著な功績のあった個人

③功労団体部門(団体)

永年にわたり文化団体として積極的に活動し、地域文化の振興に顕著な功績のあった団体

●推薦者／会員団体

●推薦数／上限なし

(奨励賞)

●対象／優れた芸術作品の創作、又は芸術性の高い技能の発揮、若しくはその指導により将来を期待できる個人又は団体

●推薦者／役員及び会員団体

●推薦数／個人1名、団体1団体

●提出物／推薦調書(書式は事務局まで)

●提出先／県文化協会事務局

●提出期限／令和5年11月30日(木)

●問合せ先／本紙裏面を参照

奨励賞

受賞コメント

この度は奨励賞をいただき、大変光栄に思っております。幼い頃からの夢でもあるプロのバレエダンサーとなり海外で様々な演出に出演致しました。これも先生方、両親、友人の支えがあったからこそと感謝しております。今後は、微力ながらも後進の指導にあたりバレエ芸術を継承していけたらと思っております。

8歳よりバレエを始め、立脇紘子、河野自由美、イリーナ・スイロワ、ルーシー・フランソワに師事。モスクワ国立バレエアカデミーを卒業後、ロシア国立アストラハン歌劇場バレエ団へ入団。退団後は、帰国し、指導者として後進の育成とバレエ文化の普及に努められています。



愛媛バレエ協会
たけもと れな
竹本 玲奈さん

受賞コメント

この度は輝かしい賞を頂戴し誠に光栄に思います。これからも幼い頃からの夢である世界のトップダンサーを目指し日々努力を怠らず精進します。

3歳よりバレエを始め、県内のみならず、県外・海外でも舞台出演を行うとともに、国際レベルでのクラシックバレエ芸術の普及啓発に貢献している。現在は、スカラシップを得て、世界3大バレエ学校の一つと言われる英国ロイヤルバレエ学校に在学。同校では、その技術力と表現力は高く評価されています。



愛媛ジュニアバレエ連盟
まつおか かいと
松岡 海人さん

愛媛県文化協会創立30周年記念 特別功労者、功労者表彰受賞者、感謝状授与団体の皆様

特別功労者表彰 ※元副会長、元副理事の順、敬称略

受賞者	役職歴
秋山 一夫	元副会長・愛媛県美術会
井上富士彌	元副会長・西予市文化協会
加藤 敏史	元副会長・四国中央市文化協会
土居 英雄	元副会長・松山市文化協会
矢野 徹志	元副会長・砥部町文化協会
生口 象亭	元理事・内子町文化協会
加藤 篤二	元理事・伊方町文化協会
住 和信	元理事・八幡浜市文化協会
高岡 利三	元理事・久万高原町文化協会連絡協議会
前田 充	元理事・愛南町文化協会
松岡 司志	元理事・伊予市文化協会
松本 宗正	元理事・茶道裏千家淡交会松山支部
吉住 智皓	元理事・今治市文化協会

愛媛県文化協会では、創立30周年を記念して、当協会の発展に功績のあった方に対して特別功労者表彰・功労者表彰の受賞者を決定するとともに、創立30周年記念式典の中で表彰式を行いました。

当協会の役員として功績のあった方を「特別功労者」、協会会員団体に所属し、文化の振興に功績のあった方を「功労者」として表彰したものです。

また、今回、賛助会員として5年以上当協会の発展に御協力いただいた方々に対しても、感謝状を贈呈しました。

式では、お一人ずつお名前を御紹介し、代表として井上富士彌さん、八木健さん、谷晶子さんが表彰状と記念品を、愛媛新聞社さんが感謝状を受領されました。

ここに、受賞者の皆様の御健勝と更なる御活躍をお祈り申し上げます。

功労者表彰 ※分野別団体、地域別団体の順、敬称略

[分野別]

受賞者	会員(団体)名
水田 真子	愛媛現代舞踊協会
安永 江悠	愛媛県吟剣詩舞道総連盟
松長雅楽和	愛媛県三曲協会
八木 健	虎造節保存会

[地域別]

受賞者	会員(団体)名
中島 滉楓	西条市文化協会
谷 晶子	四国中央市文化協会
廣田 秀久	今治市文化協会
鎌倉 和子	松前町文化協会

感謝状贈呈 ※50音順、敬称略

贈呈団体		
株式会社あいテレビ	アマノ印刷株式会社	安藤工業株式会社
株式会社今治国際ホテル	株式会社伊予銀行	株式会社ウイン
株式会社エス・ビー・シー	株式会社愛媛銀行	株式会社愛媛新聞社
愛媛信用金庫	岡田印刷株式会社	有限会社三予商会
四国ガス株式会社	セキ株式会社	タオル美術館
第一印刷株式会社	大王製紙株式会社	株式会社テレビ愛媛
南海放送株式会社	株式会社ハラブックス	有限会社三浦屋文具店
株式会社八木記章		

創立30周年記念誌の 発行について



愛媛県文化協会では、創立30周年記念事業の一環として、創立30周年記念誌を発行いたしました。各会員団体の紹介のほか、文化協会の直近5年間のあゆみや県民総合文化祭の変遷、また、「地域こども文化体験教室事業」や「伝統文化未来づくり事業」といった、文化協会が実施した将来を担う子どもを対象とした事業について掲載しております。

定価1,100円で販売いたしましたところ、好評につき多くの会員の皆様にお買い上げいただきました。ここに感謝申し上げます。ここに感謝申し上げます。なお、記念誌の購入を希望される方は文化協会事務局まで御連絡ください。



定期総会

今年、コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受けて、4年ぶりに通常通り開催されました。

1 総会の成立

正会員59団体の45団体より出席がありました。

会則第25条第1項の規定による定足数を満たしており、当総会は成立しています。

2 議決結果

〈第1号議案〉

令和4年度事業報告及び収支決算

↓承認45団体、不承認0団体により成立

令和4年度の事業実績として、機関紙の発行、県民総合文化祭開催、地域こども文化体験教室事業、愛媛県文化協会創立30周年事業、地域文化功労賞などの顕彰事業の実施、ホームページの管理・運営、国民文化祭への派遣団体の推薦、総会や理事会の書面開催などの事業が報告され、収支決算とともに承認されました。

〈第2号議案〉

理事及び監事の選任について

↓承認45団体、不承認0団体により成立

新役員名簿のとおり理事及び監事を選任することについて御審議いただき、承認されました。

◆令和4年度収支決算

収入の部 (単位: 円)	
科目	決算額
前年度繰越金	4,125,453
会費	1,975,000
賛助会費	370,000
県民総合文化祭委託料	26,554,919
雑収入	74
計	33,025,446

支出の部 (単位: 円)	
科目	決算額
一般管理費	340,489
会議費	21,144
交流事業費	0
広報事業費	808,484
顕彰事業費	181,370
県民総合文化祭事業費	26,554,919
地域こども文化体験教室事業費	270,674
伝統文化未来づくり事業費	0
30周年記念事業費	3,210,919
予備費	0
計	31,387,999

〈第3号議案〉

会長及び副会長の承認について

↓承認45団体、不承認0団体により成立

新役員名簿のとおり会長及び副会長を選任することについて御審議いただき、承認されました。

〈第4号議案〉

令和5年度事業計画(案)及び収支予算(案)

↓承認45団体、不承認0団体により成立

今年度の事業計画については、以下の事業について収支予算案とともに承認されました。機関紙の発行、県民総合文化祭の開催、地域こども文化体験教室の開催、伝統文化未来づくり事業の実施、顕彰事業の実施、国民文化祭派遣団体の推薦、定期総会や理事会の開催、創立30周年記念事業の実施など)

◆新役員

*太字は今回新たに役員になられた方です。また、役職は定期総会時点です。

会長	市村 公子 (愛媛県合唱連盟理事長)
副会長	松本 勇二 (愛媛県俳句協会会長)
	篠原 雅士 (新居浜文化協会会長)
	松岡 司志 (伊予市文化協会会長)
	谷 清 (松野町文化協会会長)
理事	内田久美子 (愛媛バレエ協会会長)
	栗田 敬子 (えひめジャズネットワーク会長)
	小泉 新 (愛媛日舞協会会長)
	今井 藤凡 (愛媛県三曲協会会長)
	藤岡 抱玉 (愛媛女流書家連盟会長)
	児島有一郎 (日本将棋連盟愛媛県支部連盟事務局長)
	永井 宗知 (茶道裏千家淡交会松山支部幹事長)
	谷 晶子 (四国中央市文化協会会長)
	大亀 藤英 (今治市文化協会会長)
	川野 麗子 (上島町文化協会顧問)
	矢野 徹志 (砥部町文化協会会長)
	清家 悟 (西予市文化協会会長)
	末光 勝幸 (伊方町文化協会会長)
	林 仁 (愛南町文化協会会長)
監事	田中 静江 (えひめキッズ伝統文化ネットワーク会長)
	高岡 利三 (久万高原町文化協会連絡協議会会長)

◆令和5年度収支予算

収入の部 (単位: 円)	
科目	予算額
前年度繰越金	1,637,447
会費	1,990,000
賛助会費	360,000
県民総合文化祭委託料	28,126,000
30周年記念事業収入	575,300
雑収入	56
計	32,688,803

支出の部 (単位: 円)	
科目	予算額
一般管理費	450,000
会議費	580,000
交流事業費	0
広報事業費	776,000
顕彰事業費	280,000
県民総合文化祭事業費	28,126,000
地域こども文化体験教室事業費	460,000
伝統文化未来づくり事業	230,000
30周年記念事業費	450,000
予備費	1,336,803
計	32,688,803

令和5年度 県民総合文化祭

～解き放て あふれる想い えひめの文化～

今回で36回目を迎える秋恒例の県民総合文化祭は、芸術文化から産業分野まで幅広い分野のアマチュア文化の祭典として、10月から12月の間、県内各地で開催いたします。

今年度のテーマ「解き放て あふれる想い えひめの文化」には、「世界中を襲い、各地に様々な苦しみを与えたコロナ禍も、次第に落ち着きを見せ、新しい日常が始まろうとしている。苦しかった日々をくぐり抜け、新しい時代へと力強く立ち上がっている今こそ、県民の想いがはじけ、躍動する“えひめの文化”の祭典でありたい」というメッセージが込められています。

県民総合文化祭を通じて、多くの皆様に文化の素晴らしさを体感いただける企画を実施してまいりますので、是非御期待ください。

なお、各事業の詳しい開催日程や内容などは、9月に発行予定の県民総合文化祭「総合プログラム」又は愛媛県文化振興課のホームページ等で御確認ください。



◀県HP

令和5年度 県民総合文化祭
文芸作品募集のお知らせ

【川柳大会】令和5年11月5日(日)

- 応募数：各題2句(未発表の作品に限る)
題：「笑う」「バス」(共選)
- 応募方法：所定の用紙(コピー可)を使用
- 募集締切：令和5年10月10日(火)[当日消印有効]
- 応募料：1,000円(発表誌贈呈)郵便小為替同封
- 応募先：〒799-3121 伊予市稲荷537-17 山内もところ
令和5年度県民総合文化祭川柳大会係あて

【ジュニアの部(小・中学生)】

- 応募数：各題2句(未発表の作品に限る)
題：「どンドン」「丸」「笑う」
- 応募方法：所定の用紙(コピー可)を使用
- 募集締切：令和5年9月25日(月)[当日消印有効]
- 応募料：無料
- 応募先：〒799-2415 松山市猿川甲1017 池谷三和子方
県民総合文化祭川柳大会ジュニア係あて(TEL 090-8698-7101)
- 問合せ先：〒791-8055 松山清住2丁目1162-22 大前尚道方(TEL 089-952-6774)

【短歌大会】令和5年11月12日(日)

- 応募数：二首一組、自作未発表のものに限る
- 応募方法：応募用紙または官製はがきに、作品・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・大会当日の出欠・所属結社等がある場合はその名称・学生・生徒の場合は学校名・学年を明記
- 募集期間：令和5年6月1日(木)～8月20日(日)[当日消印有効]
- 出送料：二首一組3,000円(ただし学生・生徒は無料)郵便小為替同封
- 応募先：〒799-2115 今治市中堀1-5-15 樽垣由美子方
愛媛歌人クラブ事務局あて(TEL 090-8972-5792)

【連句大会】令和5年11月23日(木・祝)

- 応募方法：形式は半歌仙。(初めて応募される方は御相談に乘ります。指定用紙に限る。(用紙請求は下記へ。コピー可)協起し、独吟は不可。令和4年9月1日以降、満尾の未発表作品に限る。
- 募集期間：令和5年7月1日(土)～8月31日(木)
- 応募料：選考資料作成費として1巻につき500円。(郵便小為替同封。当日持参可。ただし学生・初めて応募される方は無料)
- 応募先：〒791-0243 松山市平井町甲2169-43 二神重則宛
e-mail: westengehen@tempo.ocn.ne.jp
(wordでの用紙請求はこちらへ)
- 問合せ先：〒791-0113 松山市白水台2丁目7-13
TEL・FAX 089-923-9663 岡田方(用紙請求可)

【現代詩大会】令和5年11月23日(木・祝)

- テーマ：自由作品(※テーマは設定していません。)
- 応募数：一人1篇(未発表の作品に限る。)
- 応募作品：20文字×40行以内(400字詰め原稿用紙2枚、ワープロ原稿可)
- 応募方法：住所(郵便番号を含む)、氏名、電話番号を明記
- 募集締切：令和5年9月30日(土)[当日消印有効]
- 応募料：5,000円(作品集作成費。ただし中学・高校生は無料)銀行振込または現金書留
- 作品集：応募作品は「2023愛媛詩集」として作品集を作成し、大会で配布。(※中学・高校生の作品については、編集委員の選考により無料掲載)
- 応募先：〒790-0855 松山市持田町1-2-31 森原直子方
愛媛詩話会事務局あて(TEL 089-931-1931)

【漢詩大会】令和5年11月23日(木・祝)

- 投稿詩：七言絶句に限る
(課題)①四国の名勝又は先哲篇、②大会所感、③伊藤竹外先生を讃う、④自由題
- 投稿締切：令和5年7月20日(木)厳守
- 投稿料：1首につき1,000円
- 頒・贈送：〒791-8004 松山市鶴川二丁目16-22
愛媛漢詩連盟事務局 片岡竹杖宛(TEL 089-979-1224)

★開催日程(予定)★

開催日	イベント名	場 所
10/2(月)	秋季県展 ○前期(10/2(月)～10/9(月・祝)) 日本画・彫刻・工芸・書道 ○後期(10/13(金)～10/20(金)) 洋画・版画・写真・デザイン	県美術館南館
10/7(土)	オープニングイベント	県民文化会館(真珠の間)
10/15(日)	ジャズ公演	IYO夢みらい館文化ホール
11/5(日)	将棋大会 吟詠剣詩舞公演 川柳大会	県民文化会館(別館) 県民文化会館(メインホール) 県民文化会館(真珠の間B)
11/11(土)	総合フェスティバル 茶会(11(土)、12(日)、18(土)、19(日)) いけばな展(11(土)、12(日))	県民文化会館(メインホール) 県生活文化センター 県民文化会館(県民プラザ)
11/12(日)	バレエ公演 合唱公演 短歌大会	県民文化会館(メインホール) 砥部町文化会館ふれあいホール 県民文化会館(真珠の間A)
11/16(木)	高等学校総合文化祭 (16(木)～19(日))	県民文化会館 ほか
11/18(土)	えひめ・まつやま産業まつり (18(土)、19(日))	松山市城山公園
11/19(日)	モダンダンス公演	グリーンピア玉川大ホール
11/23(木・祝)	囲碁大会 邦楽・邦舞公演 連句大会 現代詩大会 漢詩大会 中学校文化祭美術作品展 (23(木・祝)～26(日))	県民文化会館(真珠の間) 県民文化会館(サブホール) 県民文化会館(本館5.7会議室) 県民文化会館(別館11会議室) IYO夢みらい館文化ホール 県美術館南館
11/26(日)	吹奏楽公演	生涯学習センター市民小劇場
11/30(木)	障がい者芸術文化祭 “愛顔ひろがるえひめの障がい者 アート展” (11/30(木)～12/10(日))	県美術館
12/2(土)	えひめ生涯学習“夢”まつり(2(土)、3(日))	県民文化会館(県民プラザほか)
12/2(土)	障がい者芸術文化祭 “愛顔ひろがるえひめのアート広場”	城山公園
12/3(日)	演劇公演	県民文化会館(サブホール)
12/10(日)	子ども伝統文化フェスタ	県民文化会館(サブホールほか)
12/24(日)	障がい者芸術文化祭 “愛顔ひろがるえひめの舞台芸術”	IYO夢みらい館

今年の見どころ

オープニングイベント

- 10月7日(土) 14:00～15:00
- 県民文化会館 真珠の間

県民総合文化祭のオープニングを飾るイベントとして、文化協会会員団体によるライブ演奏や高校生による郷土芸能の発表のほか、総合プログラム表紙原画デザイン表彰式、県民総合文化祭の見所紹介を行います。また、瀬戸内を拠点とするアイドルグループ「STU48」のメンバーが、県文祭応援サポーターとして、県民総合文化祭の開幕宣言やスペシャルライブなどを行います。

＝ 9月6日(水)から入場券の受付を開始します。(抽選) ＝

総合フェスティバル

- 11月11日(土) 14:00～16:00(開場13:00)
- 県民文化会館 メインホール

様々なジャンルのアーティストが一堂に会し、音楽・舞台芸術を堪能できる、県民総合文化祭のメインイベントです。東京藝術大学出身の県内音楽家によるヴァイオリンとピアノのジョイントリサイタルや、本県ゆかりのダンサーで、役者、振付家、指導者としても活動する「宮河愛一郎」と「ダンススタジオ108」によるダンスの披露のほか、今年5月に愛媛県文化協会地域文化功労賞を受賞した安井美代子氏が代表を務める「創流民謡会」による三味線の演奏と中学生「泉川想来さん」の民謡など、和洋様々な文化による躍動感あふれるステージを行います。また、高校生によるハンドベル、和太鼓、愛媛県警察音楽隊のサポートによる吹奏楽の発表のほか、書道パフォーマンスと「ほろろ一座」によるよさこい踊りのコラボレーション、映像作品の上映を行います。

さらに、県文祭応援サポーターでもある「STU48」によるスペシャルライブ、出演者全員での合唱によりフィナーレを飾ります。

今年度の県民総合文化祭のテーマ「解き放て あふれる想い えひめの文化」のもと、県民の想いがはじけ躍動するようなプログラムとなっておりますので、皆さまの御来場を心よりお待ちしております。

＝ 9月22日(金)から入場券の受付を開始します。(抽選) ＝



子ども伝統文化フェスタ

- 12月10日(日) 10:00～16:00
- 県民文化会館 サブホール ほか



子どもたちが、様々な伝統文化・芸能に触れ、そのすばらしさや楽しさを実感することができるイベントです。愛媛の伝統文化・芸能を受け継ぐ子供たちの舞台発表や作品展示のほか、他県の伝統文化・芸能によるスペシャルステージを行います。

また、いろいろな分野の伝統文化・芸能の体験コーナーのほか、水引体験ワークショップ、お楽しみ抽選会も開催します。

企画公募事業

今年度は、次の3事業が採択されました。

※内容については変更になる場合がございます。問い合わせ先にご確認のうえ、ご参加ください。

第九演奏会

「地域の音楽活動をより盛んに」との思いから、磯恒子氏(元教師)が公募し結成した西条第九合唱団と、趣旨に賛同して集うソリストと伊予管弦楽団の演奏をどうぞお楽しみください。

- 実施主体：西条市総合文化会館
- 日時：12月24日(日) 14:00～16:00(開場13:00)
- 場所：西条市総合文化会館 大ホール
- 入場料：前売3,300円 当日3,500円
- 問い合わせ先：西条市総合文化会館 TEL 0897-53-5500(曾我部)

くまっこ大集合! みんなアーティスト!!

久万高原町で活動している文化芸術団体や作業所等のみなさんが、この日のために練習してきたことをステージ発表します。また、各団体の紹介・体験ブースでは来場者のみなさんが各団体の日頃の活動内容を聞いたり、体験したりできます。障がいの有無、年齢を問わず、くまっこが大集合したアートイベント、ぜひお気軽にご来場いただき、お楽しみください!

- 実施主体：みんなだーいすき
- 日時：10月1日(日) 13:00～17:00
- 場所：久万高原町産業文化会館 多目的ホール他
- 入場料：無料
- 問い合わせ先：みんなだーいすき TEL 080-5665-6197(新名(しんみょう)) ※電話に出られない場合はかけ直します

フラットシアターフェスティバル

「フラットシアター」というのは、「垣根を持たない劇空間」を意味していて、表現することにプロアマ、年齢、性別はもちろん、障がいの有無も関係なく表現活動することを目的としたフェスティバルです。入場無料! お気軽にお越しください!

- 実施主体：松山アクターズ イベント実行委員会
- 日時：10月22日(日) 14:00～16:00
- 場所：松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール2階特設会場
- 入場料：無料
- 問い合わせ先：松山アクターズ イベント実行委員会 TEL 080-1996-6634(代表 近藤誠二)

創立60周年を迎えて いきいき伝えよう 伝統のひびき

愛媛県三曲協会 庶務部長 長谷川象山

春爛漫の4月16日に愛媛県三曲協会創立60周年記念演奏会を松山市総合コミュニケーションセンターキャメリアホールで開催致しました。中村時広愛媛県知事様、野志克仁松山市長様からご祝辞を頂き、16舞台総勢300名の出演者で各舞台演出にも工夫を凝らし盛大な演奏会となりました。



愛媛県三曲協会 創立60周年記念演奏会

●協会設立の経緯と 記念演奏会

愛媛県三曲協会発足は昭和39年5月。東京オリピック開催に機運が高まり、日本三曲協会を軸に、各流派で芸術祭や海外演奏などに参加、国際的にも活発な活動が行われておりました。

愛媛県三曲協会発足にあたり日本三曲協会の設立に精通されていた故今井藤初、土肥圭三郎両師の熱意とご尽力により県内の先生方に賛同を得るために3年の歳

月をかけ協会設立に至りました。

愛媛県三曲協会発足記念第一回三曲演奏会は昭和39年5月31日松山市庁ホールで開催され、その後毎年定期演奏会を開催し節目の記念演奏会は著名な演奏家、演奏グループをお招きし素晴らしい演奏を聴く事が出来、演奏会に華を添えて頂

きました。

○第10周年記念演奏会

客演：中能島欣一、中能島慶子、青木静夫
○第20周年記念は松山市の姉妹都市アメリカ・サクラメント市海外公演と定期演奏会。客演：邦楽4人会・講演会・吉川英史

○第30周年記念はドイツ・フライブルグ市への文化使節として海外公演と定期演奏会。客演：日本音楽集団

○第40周年記念演奏会

客演：宮城合奏団
○第50周年記念演奏会
客演：日本音楽集団

●60周年記念演奏会の主旨と協会の使命

今回の第60周年記念演奏会はコロナ禍での演奏会中止、規模縮小開催を経て、三曲協会会員全てが出演演奏出来る舞台にしたいと、大会会長 今井藤凡、実行委員長 西田仙秋山の下に編集委員会を立ち上げ、演奏会プログラム構成、創立60周年記念誌作成を行いました。

今まで定期演奏会は社中単独の出演でしたが60周年記念演奏会では県下各流儀（芙蓉会、正派邦楽会、箏曲宮城会、当道音楽会、双調会、沢井箏曲院、筑紫会、日本当道音楽会、玄箏社）が選曲し、尺八（琴古流、都山流尺八楽会、日本尺八連盟、新都山流）も出演演奏。東、中、南予地区の各流派の熱の入った演奏に観客の皆様が感動されておりました。

平成14年から定期演奏会に児童部とし

て県内小、中学校の児童、生徒での演奏を開始。小学校低学年から中学3年生までの児童生徒の中には同級生、友人、親族の前で初舞台の児童もいましたが、練習の成果を見事に発揮し素晴らしい演奏となりました。

尺八は各流派合同尺八演奏が実現し、新たな一ページとなりました。

三曲協会設立当時と比較して多様化している現在、邦楽人口も大変減少しております。伝統文化である邦楽を継承・発展させていくことは愛媛県三曲協会の責務であり「いきいき伝えよう 伝統のひびき」の理念のもとに愛媛の文化に寄与してまいる所存です。

●年間の事業

○1月「三曲協会公開講座」

毎年愛媛県三曲協会総会後、三曲界の著名な演奏家を招き演奏と講習会を一般の愛好家にも開放しており、今年で30回になります。

○4月「愛媛県三曲協会定期演奏会」

○6月「古曲を楽しむ会」
今年で35回。定期演奏会では演奏時間の制約があり古曲の全曲演奏は不可能のため、カット無しで三曲本来の古曲の素晴らしさを鑑賞会として一般愛好家にも公開。

○「外郭の文化祭関係の参加」

子ども伝統文化フェスタ、文化庁伝統文化親子教室事業、県民総合文化祭、豊かな楽器体験推進事業、その他。



出演者全員での合同演奏の様子

新規加入
団体紹介

愛媛県吹奏楽会議

会長 福田 健泰

愛媛県吹奏楽会議は、平成9年4月に前身の「愛媛県一般吹奏楽団連絡協議会」として結成しました。愛媛県下の市民吹奏楽団により構成され、最も多い時では加盟団体が15団体程あり、会員総数は約300名が所属していました。平成20年1月に、一般吹奏楽団体に限らず広く愛

媛県下の吹奏楽界に対して前向きに議論し、発展させていきたい」という想いから、現在の「愛媛県吹奏楽会議」と名称変更しました。時代の流れとともに会員数は減少傾向にあり、現在では、6団体が加盟し、会員総数は約130名です。

吹奏楽とは、木管楽器、金管楽器、打楽器をベースとし、コントラバスやハープ、ピアノなどが加わる合奏形態で演奏される音楽の総称を指します。これら20種類前後の楽器を担当分けし、楽曲を35パートぐらいの編成にて演奏します。人数は、40名〜50名ぐらいで演奏するのが一般的です。吹奏楽の中でも、学術上の演奏スタイルの定義はいくつかありますが、それぞれの楽団によって人数の配分や編成は異なっており、15名前後〜60名前後で演奏するなど、様々な吹奏楽の音色の違いを楽しむのも、吹奏楽の醍醐味のひとつです。特に近年では少子化に伴い、演奏する編成も小編成化が進んでいます。その中で、作曲家・編曲家が様々な工夫を凝らし、演奏時の編成難に対応できる柔軟な楽曲が多く出版されています。人数が少なくても大きな編成に引け目を感じることなく吹奏楽を楽しめる環境整備も進んでいます。また、所属する会員の

令和4年度県民総合文化祭
吹奏楽公演パンフレット



年齢層も18歳〜70歳ぐらいまで幅広く、中には親子二代で同じ楽団で活動するメンバーもいます。まるで一つの大家族のような吹奏楽の活動は、まさしく社会の縮図といえます。

形式にとらわれすぎず、多様性を受け入れると同時に、組織のあり方や環境整備への取り組みなど、文化芸術に限らず社会全体で考えていかなければならない課題です。

さて、当会議の年間の活動としましては、「県民総合文化祭 吹奏楽公演」の開催を中心に各団体の連携強化のための諸会議や、地域からの依頼演奏、講習会の開催などを行って参りました。ただし、近年のコロナ禍では、吹奏楽は、大所帯でマスクを外さなければならぬ活動のため、活動を厳しくとも苦慮する日々を過ごしてきました。5月からの5類移行を経て、少しずつ平常運転に戻りつつあるため、今後は、各地域の吹奏楽団と更なる連携強化を図り、自主公演事業や中学・高校生との交流事業などを企画立案して参り



久しぶりの有観客公演を楽しみに準備中

たいと考えています。また、当会議の所属団体の活動拠点は、南は宇和島市から松山市、今治市、県内東端の四国中央市と県下全域にわたっています。それぞれの団体によって、練習日時や会費等は異なりますので、お問い合わせいただきましたら最寄りの楽団をご紹介致します。私たちと一緒に、吹奏楽を通じて様々な音楽に触れ、それぞれの楽団の特色を活かしながら音楽溢れる愛媛県となるよう、楽しみながら活動していただく仲間を大募集中です。

最後になりましたが、この度、歴史ある愛媛県文化協会に入会することができ大変嬉しく思っています。皆様の地域に根差した様々な活動を学ばせていただき、当会議も微力ながら愛媛県の文化振興に努めて参ります。今後ともよろしくご指導の程、お願い申し上げます。

各島独自の文化・歴史を大切に交流

上島町文化協会

事務局 田名後 高広

上島町文化協会は、上島町が誕生した2年後の平成18年5月に創立されました。しかし、離島同士ということで、どこへ行くのも移動はすべて船に頼るしかない状態で、会議を開催するにおいても、船の時刻表を片手に閉会時間を気にしつつの協議となります。「離島」の壁は大きく、地区間の交流は必ずしもスムーズではありませんでした。

こういった中で、それぞれの支部同士の交流を図ることを目的に平成19年度より、全支部合同での日帰り研修旅行を実施し、大人数での移動で、色々なハプニングがありました。

各支部での最大のイベントである秋の文化祭においては、離島同士のため、移動の不便さ、船舶利用料金による集客の問題、会場



弓削文化祭の様子(弓削・岩城コーラス部 出演)

の規模等の理由により、一堂に会し全体での開催は難しい状態であったため、それぞれ各支部での開催となっていました。しかし、全ての支部の文化祭を統括した「総合開会式」を開催することとし、開会地を4支部の持ち回りにすることで、他地区の文化活動に多くの会員の方に目を向けてもらえるようになりました。毎年10月末から11月中旬にかけて上島町の文化祭シーズンとして、各文化祭にお互いに出演したり、作品を出展したりするなど、文化交流を積極的に進めました。また、それぞれの公演やコンサートでは支部を越えて、またはジャンルの違う部が合同で開催

するようにもなりました。地区の文化祭は子供の琴教室や小学生のダンス出演、地域の団体のバザー協力、高校生の作品展示など、子供から大人まで地域が一つとなった行事となり、地域の方が楽しみなとなる行事となりました。本会では、各部の事業を支援しようと、独自の「文化活動促進事業補助金」という補助制度を設けてい



岩城三世代交流会の様子

ます。各部もそれを活用しながら、岩城三世代交流会やコーラスコンサート、また音楽ライブや作品展など、多種多様の取り組みを行ってまいりました。

そのような中、令和4年3月、ゆめしま海道全線開通に伴い、上島町文化協会においても各支部を廃止し、一本化しました。しかし、活動自体は島ごとに行っており、今までと変わりありませんが、橋が架かったことにより、他の島で活動している部会へ入会する人や他の島の同じ部会と合併するなど若干では



上島町文化祭の様子(子供の琴教室 出演)

かした体験教室を実施し、まずは興味をもってもらいたいと考えています。小さな地域の小さな文化協会ですが、交流から生まれた会員間の繋がりを大切にしながら、地域をさらに元気に、活気ある町づくりのお手伝いができるよう活動を続けて行こうと思っております。

ありますが変化してきています。各島で開催していた文化祭は、毎年持ち回りで開催されることになりました。昨年度は岩城地区で一本化して初めて開催されましたが、住民をはじめ会員にとって新鮮で、とても楽しんだようでした。令和5年度は、魚島地区で開催するため、会員の中には同じ町内でも初めて上陸する方もおられ、魚島の歴史に触れ、魚島の文化にも触れることができます。そのことにより住民同士のますますの交流が図られ、上島町がひとつになれることを期待しています。

近年、コロナ禍により、地域の中で活動する機会が減ってきており、文化祭以外の活動や発表の場が少なくなっています。また、会員の高齢化等で活動する部も減ってきており、新たな会員確保が課題となっています。そこで、それらの課題を解決する一歩として、各自の活動の特色を活

ふるさとことの太鼓よ、どこへまでも響け

栗津祇園太鼓保存会 津田豊一

平成3年春、この歴史の始まりである。

当時の大洲市立粟津小学校の宮武校長は、退職へのラストイヤーの想いを、区長会で告げた。「八多喜に郷土芸能を残したい」それが、栗津祇園太鼓の始まりだった。

区長会はその情熱に賛同し、大洲市八多喜地区での寄付集めが始まり、10月には太鼓購入へと進んだ。そして11月、栗津小学校での練習が始まり、同時に青年部(別名Team響)の活動も運動していった。



発足式の様子

栗津祇園太鼓の由来は、八多喜地区の旧地名(栗津村)と、地区の代表的な神社「祇園神社」の名前を戴いた。

当時の栗津小学校和太鼓クラブは、担当教諭と和太鼓講師が

指導に当たり、4年生から6年生の有志

十数名の児童で構成され、オリジナル曲「栗津祇園太鼓」を習得、また青年部では、十数名の有志が集まり、基礎練習から始まり、曲の習得へと研鑽を積んだ。

何分にも全てが初めての体験、様々な試行錯誤を繰り返しながら、共に必死の活動が続いた。

特に青年部に至っては、夜の練習のため、地元での騒音の問題が課題となり、太鼓にカバーを被せたり、山中の集会所へ太鼓を移動し練習したりすることもあった。それでも各人が和太鼓の魅力に取りつかれ、曲の完成へと努力を重ね、平成4年4月、栗津祇園太鼓保存会の発足式を迎え、見事な演奏を披露できた。そして、本格的な活動が始まった。

当時の全国的な和太鼓ブームもあって、栗津小和太鼓クラブでは、各種学校行事での演奏や介護施設等への慰問、クラブ活動での練習を重ね、青年部においては各地区の祭りや大会への参加、結婚式や落成式での演奏、慰問活動等、忙しい日々が続いた。



栗津小学校和太鼓クラブの活動の様子

更に数年後、栗津小学校の新校舎が建設され、防音設備のある音楽室の完成により、騒音問題も解決し、カバーを外しての練習となった。

やがて、青年部が中心となって栗津小和太鼓クラブの指導にあたるようになり、大洲東中学校での「ふるさと学習」での和太鼓指導も始まり、子どもたちとの絆も深くなっていった。

また5年前の西日本豪雨の際には、大きな被害を受けた八多喜地区の絶望感を吹き飛ばそうと、地元団体主催の復興祭に参加し、地域を盛り上げた。

そして気が付けば、30年の月日が流れていた。現在、保存会のメンバーは12人、栗津小学校和太鼓クラブで9人の児童、中学校のふるさと学習では17人の生徒が日々栗津祇園太鼓の練習に励んでいる。今、振り返ると、様々な風景が蘇る。青

年部での不本意な練習、それをバネにした発足式での成功、栗津小学校和太鼓クラブや大洲東中学校ふるさと学習での子どもたちとの心の交流、そして何よりも、和太鼓を共に楽しみ、それぞれの目標に向かって前進、一つのゴールに突き進む、そんな感覚が今の保存会を支えてくれているように思える。



八多喜地区復興祭の様子

発足当時の和太鼓ブームもいささか下火になったものの、31年前の和太鼓との出会いに感謝し、これからも八多喜地区の郷土芸能「栗津祇園太鼓」をより多くの人に伝えられたら本望。

文化イベント情報

連句

第20回平和祈願連句大会

日時 令和5年10月15日(日)
10:00～16:00
会場 石手寺境内・新館
内容 愛媛県連句の碑の建立を記念し開催します。連句の「和」の心でお互いの親睦を深め、参詣の方々にも平和につながる長句(五・七・五)と短句(七・七)を交互に作っていただき共に平和を祈願いたします。作品は境内に掲示します。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の折は境内での募吟は中止します。



入場料 無料
主催 愛媛県連句連盟
お問い合わせ 愛媛県連句連盟
TEL 089-923-9663

オペラ

第39回四国二期会愛媛支部公演 ～心に響く歌の花束～

日時 令和5年11月19日(日) 14:00～16:00
会場 松山市民会館 中ホール
内容 クラシックの演奏会。親しみやすい歌曲、そして様々なオペラの名場面を演奏。アリアと重唱で、心に響く歌の数々を魅力いっぱいお届けします。

入場料 前売3,000円、当日3,500円
主催 四国二期会愛媛支部
お問い合わせ 四国二期会愛媛支部長 加藤千沙
TEL 070-5681-3834

総合

第51回吉田町芸能祭 第50回吉田町文化祭

日時 芸能祭：令和5年10月1日(日) 13:00開演
文化祭：令和5年11月3日(金・祝) 8:30～17:00
4日(土) 8:30～16:00

会場 吉田公民館
内容 芸能祭：吹奏楽、声楽、琴演奏、民舞、吟詠・詩舞、日舞、アンサンブル等
文化祭：書道展、写真展、絵画展、生花展、陶芸展、俳句・短歌展、寒蘭展、老人クラブ作品展、婦人会手作り作品展、フラワーデザイン展ほか

入場料 無料
主催 吉田町文化祭・芸能祭実行委員会
お問い合わせ 宇和島市教育委員会教育総務課吉田教育係 TEL 0895-49-7098

第45回保内文化のつどい



日時 令和5年10月7日(土)～8日(日)
9:00～16:00
会場 八幡浜市文化会館ゆめみかん
内容 保内地域の文化団体と公民館の1年間の活動成果を発表するとともに、心のふれあいを深め、地域文化の振興を図る。

入場料 無料
主催 八幡浜市文化協会・八幡浜市教育委員会
お問い合わせ 八幡浜市教育委員会生涯学習課内
八幡浜市文化協会事務局
TEL 0894-36-3040

第31回三曲公開講座

日時 令和6年1月29日(日) 13:00～
会場 松山市民会館 小ホール
内容 愛媛県三曲協会では、行事の大切な位置付けの一つとして、一般の三曲愛好者にも研修の場を提供する「三曲公開講座」を開催しています。今回は正派家中島一子師他をお迎えしての、箏曲・尺八講習会です。

入場料 会員4,000円、会員外5,000円(予定)
主催 愛媛県三曲協会
お問い合わせ 愛媛県三曲協会会長 今井藤凡
TEL 090-7145-7024

吟剣詩舞

第70回清吟堂吟友会 吟剣詩舞道大会



日時 令和5年10月1日(日) 9:00～16:00
会場 松山市民会館
内容 伝統と躍進をキャッチフレーズに毎年開催している本大会。今年は70周年記念大会で、近隣県の少壮吟士の吟詠披露また本会所属の二名の少壮吟士の独吟、来賓吟詠・友好団体の紫雲館の詩舞・剣舞etc盛り沢山の内容となっている。

入場料 無料
主催 清吟堂吟友会
お問い合わせ 清吟堂吟友会 TEL 089-998-3096

浪曲

第10回浪曲・虎造節 愛媛公演



日時 令和5年9月23日(土)
13:00開演(12:30開場)
会場 松山市民会館 小ホール
内容 浪曲は日本の芸能史の原点となるもので、明治から昭和にかけて150年間、庶民に愛されました。中でも二代目廣澤虎造は、完成度の高きから浪曲の代名詞として「虎造節」と呼ばれ「話芸の至宝」と評されています。没後60年にあたる今なお多くのファンを持ち続けています。虎造の話芸に挑戦し続けている会員達の練習の成果をお楽しみください!

入場料 500円
主催 虎造節保存会
お問い合わせ 虎造節保存会事務局
TEL 090-8287-1390

美術

松山市民文化祭 第42回美術展

日時 令和5年9月29日(金)～10月3日(火)
9:00～17:00
※初日のみ11:00～、2日目は「ナイトミュージアム」と称し、20:00まで鑑賞延長。10月2日は閉館、最終日は16:00まで

会場 松山市民総合コミュニティーセンター
企画展示ホール
内容 松山市居住または通勤・通学している美術愛好家の方々から、洋画・日本画・版画・写真・書・工芸・彫塑・デザイン(8部門)に約330点の力作が出品され、市民美術の発表と鑑賞の場として開催されます。

入場料 無料
主催 松山市文化協会
お問い合わせ 松山市文化協会事務局
TEL 089-909-8008

第73回新居浜市美術展覧会

日時 令和5年10月6日(金)～14日(土)
9:30～17:00(最終日は15:00まで)
会場 あかがねミュージアム
内容 書道・日本画・洋画・版画・工芸・写真・デザイン・華道の展示
10月11日(水)
・ギャラリートーク各回15分程度(10時～16時の間で6回程度)
・ナイトミュージアム(17時～19時30分まで)

入場料 無料
主催 新居浜市
お問い合わせ 新居浜市文化振興課
TEL 0897-65-1554
新居浜文化協会 TEL 0897-36-0874



三曲

第146回芙蓉会演奏会

日時 令和5年10月29日(日) 13:00～
会場 松山市民会館 小ホール
内容 芙蓉会会員松山東雲女子大学邦楽部・済美高校琴部・久谷中学校音楽部ら幼稚園児からシルバーによる箏・三絃・尺八の演奏

入場料 無料
主催 生田流箏曲 地唄三絃 芙蓉会
お問い合わせ 芙蓉会 今井藤凡
TEL 090-7145-7024



第5回四国中央市文化協会文化祭

日時 前期 令和5年11月4日(土)～5日(日)
後期 令和5年11月11日(土)～12日(日)

会場 しこちゅ〜ホール(四国中央市市民文化ホール)

内容 市文化協会会員の作品展示や芸能発表、文化未来づくり事業として、子どもたちに文化に親しむを持ってもらう体験教室などの実施。

入場料 無料

主催 四国中央市文化協会、四国中央市教育委員会

お問い合わせ 四国中央市文化協会事務局(四国中央市教育委員会 文化・スポーツ振興課内)
TEL 0896-28-6043



第44回西条市小松文化祭

日時 令和5年11月11日(土)～12日(日)

会場 西条市小松公民館

内容 作品展示 11日(土) 9:00～17:00
12日(日) 9:00～16:00
舞台発表 11日(土) 13:15～15:00
12日(日) 12:30～15:15
地域こども文化体験教室
11日(土) 15:10～16:40
お茶席 12日(日) 10:00～14:00
イベント・即売コーナー
11日(土) 10:00～15:00
12日(日) 10:00～14:00

入場料 無料

主催 西条市小松文化協会

お問い合わせ 西条市小松文化協会事務局(西条市小松公民館) TEL 0898-72-2631



秋季生活文化部展示会

日時 令和5年11月11日(土)～12日(日)
10:00～17:00(予定)

会場 松山市総合コミュニティセンター
コミュニティプラザ

内容 松山市文化協会の生活文化部門の会員により、バラ、つばき、帯結び、拓本や水石の展示会を行います。

入場料 無料

主催 松山市文化協会

お問い合わせ 松山市文化協会
TEL 089-909-8008



愛南町文化祭

日時 令和5年11月11日(土)～12日(日)

会場 愛南町御荘文化センター ほか

内容 協会員による作品展示とステージ発表を行います。中止・縮小開催が続き、4年ぶりの通常開催となる愛南町文化祭にぜひお越しください。

入場料 無料

主催 愛南町文化協会

お問い合わせ 愛南町文化協会事務局 TEL 0895-73-1112

第49回津島町文化祭

日時 芸能部門(芸能祭)
令和5年11月12日(日) 13:00～17:00
展示・生活文化部門
令和5年11月24日(金)～26日(日)
9:00～17:00(最終日は16:30まで)

会場 宇和島市立岩松公民館

内容 津島町内の文化団体ならびに小中学生、一般市民が日ごろの文化活動の成果を発表するとともに、市民同士の交流を楽しむ。

入場料 無料

主催 津島町文化祭実行委員会

お問い合わせ 宇和島市教育委員会教育総務課津島教育係
TEL 0895-32-2721(内線5934)

第75回西条地域 秋季市民芸術文化祭



日時 令和5年10月21日(土)～22日(日)
10:00～17:00(五百亀記念館は9:00～、22日は16:00まで)

会場 西条市総合文化会館、五百亀記念館

内容 芸能祭: 日舞、三曲、器楽、コーラス、詩吟、大正琴
美術展: 洋画、書道、生花、水彩・色鉛筆画、水墨画、写真、押し花、日本画、木彫

お茶席 無料

主催 西条市文化協会

お問い合わせ 西条市文化協会事務局 TEL 0897-52-1628

第68回秋の芸術祭



日時 10月22日(日)・28日(土)・29日(日)・
11月3日(金・祝) 13:00～16:00

会場 新居浜市市民文化センター 大ホール

内容 芸能発表会

入場料 5枚綴り300円、当日券100円

主催 新居浜文化協会

お問い合わせ 新居浜文化協会
TEL 0897-36-0874

第56回やわたはま芸能文化祭

日時 令和5年11月3日(金・祝) 12:30～16:30

会場 八幡浜市市民文化活動センターコマンダ
忠八ホール

内容 地域における芸能グループの発表会を開催して、会員相互の心の交流を深め、より一層豊かな市民文化の創造を促進する。

入場料 300円

主催 八幡浜市文化協会・八幡浜市・八幡浜市教育委員会

お問い合わせ 八幡浜市教育委員会生涯学習課内
八幡浜市文化協会事務局
TEL 0894-36-3040



第42回東予地域文化祭

日時 令和5年11月3日(金・祝)～5日(日)
10:00～17:00(5日は15:00まで)

会場 西条市中央公民館・西条市東予体育館

内容 芸能発表、美術展、文芸作品展、生花展、お茶席、小中学校児童生徒作品展、バザー

入場料 無料

主催 西条市東予文化協会

お問い合わせ 西条市東予文化協会事務局
TEL 0897-52-1628



第46回保内芸能のつどい

日時 令和5年10月8日(日) 13:00～17:00

会場 八幡浜市文化会館ゆめみかん 大ホール

内容 地域における芸能グループの発表会を開催して、会員相互の心の交流を深め、より一層豊かな市民文化の創造を促進する。

入場料 300円

主催 八幡浜市文化協会・八幡浜市教育委員会

お問い合わせ 八幡浜市教育委員会生涯学習課内
八幡浜市文化協会事務局
TEL 0894-36-3040



第65回宇和島市民文化祭

日時 令和5年10月8日(日)～12月2日(土)

会場 時間は各プログラムによる
宇和島市立南予文化会館、宇和島市生涯学習センター(パフィオうわじま)、宇和島市立コスモスホール三間ほか市内各会場

内容 宇和島市内の文化団体などが、日頃の活動の成果を発表します。

入場料 無料

主催 宇和島市民文化祭実施委員会

お問い合わせ 宇和島市民文化祭実施委員会事務局
(宇和島市教育委員会文化・スポーツ課)
TEL 0895-24-1111(内線2731)

令和5年度美沼の里文化まつり

日時 令和5年10月14日(土)～15日(日)

発表部門 14日 13:00～17:00

展示部門 14日 9:00～17:00
15日 9:00～15:00

バザー 14日 9:00～16:00
15日 9:00～14:00

会場 コスモスホール三間

内容 芸能祭部門では、楽器演奏やコーラス等に日々取り組んでいる各種芸能団体がその成果を発表する。展示部門では住民・文化団体・小学校・保育園および地元高校とも協力し、絵画・写真・陶芸・書道など様々な作品を展示する。産業部門では、地元農協まつりと連携し、バザーを始め各種イベントを実施する。

入場料 無料

主催 美沼の里文化まつり実行委員会

お問い合わせ 宇和島市教育委員会教育総務課三間教育係
TEL 0895-49-7104

第18回宇和島市総合文化祭 「俳句大会」「囲碁大会」

日時 俳句大会: 令和5年10月14日(土) 13:30～
囲碁大会: 令和5年11月3日(金・祝) 9:00～
さきいや広場市民ギャラリー

会場 俳句大会: 宇和島市内で活動されている方から投句を募集し、当日参加者が秀作を選び高得点句から市長賞等を決定し表彰する。作品についての講評も行う。

内容 囲碁大会: 囲碁愛好者の交流、技術の向上を図り予選をリーグ形式、予選後各組の1位で決勝トーナメントを行う。

参加料 俳句大会500円、囲碁大会1,000円

主催 宇和島俳句協会、宇和島市総合文化祭
囲碁大会実行委員会

お問い合わせ 俳句大会: 宇和島俳句協会
囲碁大会: 宇和島市総合文化祭
実行委員会
TEL 0895-49-7033

松山市民文化祭 第42回芸術祭 「伝統芸能と現代芸能の祭典」

日時 令和5年10月15日(日)・22日(日)
10:00～18:00

会場 松山市民会館 大ホール

内容 松山市民文化協会会員の自主的な企画運営のもと、邦舞・洋舞・音楽等の発表を行います。

入場料 無料

主催 松山市民文化協会

お問い合わせ 松山市民文化協会事務局
TEL 089-909-8008

筆のつまみ

(題字 藤岡抱玉)

内子町出身・ノーベル文学賞作家 大江健三郎氏を悼む

愛媛県立図書館 伊井友世(大江健三郎追悼展示担当)

「おおえ・けん」。
これは、高校生の大江健三郎氏が、愛媛県立松山東高等学校文芸部の部誌「掌上」で使っていた名前です。漢字の「大江健三郎」しか知らなかった私は、追悼展示の準備中、偶然目にしたこのもうひとつの名前に、若い氏が愛媛の地で確かに活動していた足跡を感じました。

大江氏の訃報が届いた令和5年3月から6月まで、追悼展示を行いました。愛媛にまつわる本を網羅的に収集し、未来につなげる愛媛県立図書館の蔵書には、あらゆる時代の大江氏の姿が残っています。著書はもちろんのこと、ノーベル文学賞を祝う「広報うちこ」、紙誌をつづる郷土研究誌「郷土うちこ」など、地元愛媛ならではの貴重な記録を保存しています。特設コーナーでは、これらを自由にご覧いただきました。



「広報うちこ」等。様々な肖像も魅力的

複数の資料を読み比べると、疑問が生まれるのも面白いことです。大江氏は子ども頃、木の上で本を読んでいたそうですが、前出の「広報うちこ」でお母様は、その木を「桐の木」と振り返っています。一方、大江氏著「自分の木」の下で「では「カエデの木」となっています。これは一体どういふことなのだろうと、興味をそそられます。

素顔の大江健三郎を知る人、大江健三郎に影響された人、大江健三郎を研究する人、そして、大江健三郎本人。これらからも、多様な視線が大江氏をつづってゆくことでしょう。県立図書館はそれらをしつかりと追い、皆様がいっしょに手を取れるよう、収集に努めて参ります。

このコーナーでは読者の皆様からいただいた投稿を随時掲載して参ります。原稿は、400〜600文字で作成いただき、住所、氏名、所属団体名、電話番号、ペンネーム(ペンネームで投稿する場合は明記のうえ、本ページ下に掲載しております)県文化協会事務局まで郵送してください。皆様の声をお待ちしております。



当館蔵書検索で「大江健三郎」を検索できます。

受賞のご紹介

今井藤凡氏(松山市)が令和4年度「愛媛県政発足記念日知事表彰」を受賞されました。

今井藤凡氏は、愛媛県三曲協会庶務部長、副会長を経て、令和2年より会長を務められ、長年にわたり組織の運営に当たるとともに、講師として、学校や地域で箏・三絃の指導を通して県内における箏・三絃の普及に尽力されました。

愛媛県三曲協会では、定期演奏会や講習会を通し演奏技術向上を図っているほか、小中学校で三曲の魅力を発信しており、県民文化祭では、他の分野団体と連携し「邦楽・邦舞公演」を開催し、県民が邦楽を鑑賞する機会を提供され、愛媛県の芸術文化振興に貢献されています。

賛助会員の募集

愛媛県文化協会では、愛媛の文化活動並びに当協会を側面から支援してくださる企業・個人の賛助会員(一口1万円)を募集しています。愛媛文化の将来を担う人づくりと、文化を生かした地域活性化のため、1人でも多くの方々に応援いただくよう、積極的な呼びかけを行っております。会員の皆様も、お住まいの地域で応援いただける方への呼びかけ等に御協力ください。

- 特典
- 1 機関紙「文化協会えひめ」の送付(年2回発行)
- 2 機関紙への賛助会員名簿の掲載(年1回)
- 3 県民総合文化祭事業への招待
- 4 その他愛媛県文化協会主催行事ほか関係情報の提供

賛助会員の紹介 (五十音順)

賛助会員名	所在地
株あいテレビ	松山市竹原町 1-5-25
アマノ印刷(有)	松山市東石井 1-10-30
安藤工業(株)	西条市三津屋 190-1
株今治国際ホテル	今治市旭町 2-3-4
株伊予銀行	松山市南堀端町 1
株ウイン	松山市二番町 3-6-5
株エス・ピー・シー	松山市湊町 7-3-5
株愛媛銀行	松山市勝山町 2-1
株愛媛新聞社	松山市大手町 1-12-1
愛媛信用金庫	松山市二番町 4-2-11
岡田印刷(株)	松山市湊町 7-1-8
(有)三予商会	松山市花園町 5-2
四国ガス(株)	今治市南大門町 2-2-4
セキ(株)	松山市湊町 7-7-1
タオル美術館(一広(株))	今治市朝倉上甲 2930
第一印刷(株)	今治市喜田村 1-6-40
大王製紙(株)	四国中央市三島紙屋町 2-60
株テレビ愛媛	松山市真砂町 119
道後温泉旅館協同組合	松山市道後湯之町 6-8
南海放送(株)	松山市本町 1-1-1
株ハラブックス	今治市喜田村 1-2-1
(有)三浦屋文具店	松山市湊町 3-8-9
株八木記章	松山市木屋町 2-8-21

編集委員

委員長 森原直子(松山市文化協会)
副委員長 藤岡抱玉(愛媛女流書家連盟)
名本敦子(愛媛県連句連盟)
森川啓子(四国中央市文化協会)
末光勝幸(伊方町文化協会)

お問い合わせ

〒790-8570
愛媛県観光スポーツ文化局文化局
文化振興課内 愛媛県文化協会事務局
TEL 089-947-5480
FAX 089-913-2617



▲機関紙電子版

編集後記

今年度から機関紙編集を担当することになりました。私は、3年前まで中米の小国にある大使館に勤務していました。日本から遠く離れた開発途上国ですが、たくさんの方が日本文化に親しみを持っています。和太鼓公演を開催した際の熱狂ぶりは印象的でした。開演前から長蛇の列。演奏後はスタンディングオベーションと鳴りやまない拍手、日本文化が海外の人にも感動を与える瞬間を目の当たりにできたことをよく覚えています。

愛媛でも様々な方が文化事業を楽しめるように、精一杯努めていきたいと思っております。(乙)